

辛味果実の発生しないシシトウ新品種 ‘ししわかまる’ の育成

田中寿弥^{1*}・南山泰宏²・小谷泰之^{1a}・高垣昌史³・片山泰弘¹・林 恭弘^{1b}

¹ 和歌山県農業試験場暖地園芸センター 644-0024 和歌山県御坊市塩屋町

² 京都教育大学環境教育実践センター 612-8522 京都市伏見区深草藤森町

³ 和歌山県工業技術センター 649-6261 和歌山市小倉

Breeding of New Non-pungent Sweet Pepper Cultivar ‘Shishiwakamaru’

Toshihiro Tanaka^{1*}, Yasuhiro Minamiyama², Yasuyuki Kotani^{1a}, Masafumi Takagaki³, Yasuhiro Katayama¹
and Yasuhiro Hayashi^{1b}

¹*Horticultural Experiment Center, Wakayama Agricultural Experiment Station, Shioya, Gobo, Wakayama
644-0024*

²*Center for Environmental Education, Kyoto University of Education, Fukakusafujinomori, Fushimi, Kyoto
612-8522*

³*Industrial Technology Center of Wakayama Prefecture, Ogura, Wakayama 649-6261*

摘 要

辛味果実の全く発生しないシシトウ新品種‘ししわかまる’を育成した。‘ししわかまる’は、‘紀州ししとう 1号’にピーマン品種‘京ひかり’を交雑し、DNA マーカーと‘紀州ししとう 1号’の連続戻し交雑により、選抜・固定を行った品種である。‘京ひかり’と同様に、機能欠損型の辛味抑制遺伝子 *pun1* を持ち、官能試験での辛味果実の発生は全く確認されておらず、成分分析でのカプサイシン、ジヒドロカプサイシンも全く検出されなかった。果実の大きさや外観、収量は、‘紀州ししとう 1号’と同等であった。